

新潟県「総合的な学習の時間」支援ネットワーク



このページは、県の関係部局や国、関係団体による「総合的な学習の時間」を支援する事業や情報を掲載しています。各関係部局、団体では、講師派遣・情報提供・児童生徒の学習成果発表の機会の提供等を行っています。各学校の「総合的な学習の時間」の充実に役立てていただきたいと思います。（一括データ更新は、各年度末に行っています。）

また、このネットワークに参加して下さる関係機関、関係団体がありましたら、下記に御連絡ください。

<連絡先>新潟県教育庁義務教育課 指導第1係

TEL 025-280-5604

No.	機関等名	支援内容	連絡先
1	公益財団法人 新潟県中越大震災 復興基金	事業名:ふるさと新潟防災教育推進事業 ◆中越大震災の際、全国から寄せられた義援金を財源に「新潟県防災教育プログラム」を制作し、県内全校に配布しました。(平成26年2月:配布完了) ◆このプログラムを活用し、県内の全小・中学校(特別支援学校の小学部・中学部を含む)で家庭や地域と連携した実践的な防災教育への取組が進むよう、補助金で支援する「ふるさと新潟防災教育推進事業(学校実践)」を実施しています。(平成27年4月～平成32年3月) 補助事業の内容、交付要綱等については下記サイト参照	新潟県県民生活・環境部 震災復興支援課 復興事業支援係 TEL.025-280-5767 新潟県教育庁義務教育課 指導第1係 TEL.025-280-5605 (公財)新潟県中越大震災復興 基金事務局 TEL.025-280-5220 新潟市中央区新光町4-1 新潟県庁内
		http://www.chuetsu-fukkoukikin.jp/jigyou/GIEN/index.html	
	公益社団法人 中越防災安全推進機構	ふるさと新潟防災教育推進事業・公式サイト ◆中越防災安全推進機構では、「ふるさと新潟防災教育推進事業(学校実践)」に取り組む学校や市町村を支援するためのサポート事業を行っています。 (支援の内容) ・防災教育担当教員が防災知識を習得するための研修の場づくりや、日常的な相談窓口の設置 ・ホームページの運営や、広報誌の作成と配布 公式ホームページは下記参照	(公社)中越防災安全推進機構 地域防災力センター TEL.0258-39-5767 長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト2F
		http://www.furusato-bousai.net/	
2	新潟県農林水産部 地域農政推進課	事業名:にいがた「なりわいの匠」 ◆農山漁村の暮らしの中で培われた高い技能や知識を持った方を、体験指導者「なりわいの匠」として県知事が認定しています。 ◆「なりわいの匠」は、小中学生に対する米作り、郷土料理や自然観察などの指導や実演等を行っています。 ◆詳しくは、最寄りの市町村農林担当課または県地域振興局にお問い合わせください。	経営構造対策係 025-285-5511 内線2907、2908
		http://www.pref.niigata.lg.jp/chiikinosei/1236283294525.html http://www.green2rhythm.jp/plane/takumi.html	
3	新潟県農林水産部 食品・流通課	事業名:「食育ボランティア」登録 ◆郷土料理の歴史やつくり方、農産物の育て方、食と体づくりの関わり等、「食」に関する専門的な知識や経験をもち、学校や地域活動の場で行われる「食育」に関する活動に無償でお手伝いいただくボランティアを登録している。 ◆ボランティアの依頼方法 県内の小中高校や公民館等に配付された名簿(氏名、連絡先、活動できる内容等が記載)を閲覧し、利用者がボランティアに直接依頼する。	食品産業係 025-280-5306(直通) 025-285-5511 内線2948
		http://www.pref.niigata.lg.jp/svokuhin/tisan_shokuiku.html	

No.	機関等名	支援内容	連絡先
4	JA新潟中央会 新潟県米消費 拡大推進協議会	<p>コンクール名:「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール</p> <p>◆JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、ごはんを中心とした日本型食生活の重要性や、日本の食卓と国土を豊かに作り上げてきた稲作農業全般についての理解を深めてもらうことを目的として、県内の幼稚園・保育所・小中学校等から、お米に関する作文・図画を募集する。</p> <p>◆応募方法:必要事項を記載の上、(株)全農ビジネスサポート新潟支店へ直送若しくは最寄りのJAに持参</p> <p>◆募集期間:6月～9月上旬 ◆表彰式:新潟市内にて10月下旬を予定</p> <p>http://ja-niigata.or.jp/</p>	<p>JA新潟中央会くらしの活動 対策部 025-230-2023</p> 
5	農林水産部 農業総務課	<p>◆生産者をはじめ県内農林水産業の関係機関・団体等が協力できる内容をホームページを活用して情報提供を行っている。</p> <p>http://www.pref.niigata.lg.jp/nogyosomu/1213030965117.html</p>	<p>新潟県農林水産部 農業総務課政策室 企画調整担当 025-285-5511 内線2875</p>
6	北陸農政局	<p>★下記項目等に関する資料を提供する。 ※資料が必要な場合は右記連絡先にお問い合わせ。</p> <p>①食料自給率に関する資料 ・食料自給率計算ソフト「クッキング自給率(こくさんと学ぶ料理自給率計算ソフト)」 http://www.maff.go.jp/i/zyukyu/zikyu_ritu/keisan_kokusan.html</p> <p>・パンフレット「ニッポン食べもの力見つけ隊」 ・動画「食料自給率ってなあに?」 http://www.maff.go.jp/i/zyukyu/zikyu_ritu/panfu1.html</p> <p>②食育に関する資料 ③和食・食文化に関する資料 ④農畜産物の安全に関する資料 http://www.maff.go.jp/hokuriku/</p>	<p>企画調整室 076-232-4217</p> <p>経営・事業支援部地域食品課 076-232-4890</p> <p>消費・安全部消費生活課 076-232-4227</p>
7	新潟県農林水産部 林政課	<p>事業名:森林・林業普及指導事業</p> <p>◆森林や林業の解説、体験学習のフィールドや講師等の情報提供など、森林環境教育の支援を行う。</p>	<p>経営指導係 025-285-5511 内線3028</p>
8	新潟県農林水産部 水産課	<p>事業名:沿岸漁業担い手確保促進費</p> <p>◆小中学生等を対象に水産業への理解を深めるために、漁村女性アドバイザー等を講師として下記の活動を行う。</p> <p>①漁業についての講話 ②魚料理教室 http://www.pref.niigata.lg.jp/suisan/1331154045182.html</p>	<p>指導普及係 025-280-5314 内線2989</p>
9	日本草地畜産 種子協会	<p>★総合的な学習の時間における「畜産体験」についての情報提供を行う。</p> <p>①全国ふれあい牧場協議会加入牧場一覧 ②体験学習おたすけサイト ③バーチャルふれあい牧場 http://souchi.lin.gr.jp/farm/4.php</p>	<p>草地畜産部 03-3251-6501</p>
10	新潟県土木部 監理課	<p>事業名:コミュニケーション行政推進事業</p> <p>◆私たちの暮らしをささえる、道路、河川、堤防、ダム等の社会資本について、現地や学校で、土木部職員が講師として説明します。</p> <p>◆土木施設の歴史的な経緯、地震や豪雨等による自然災害への対応、道路除雪や土木の魅力についても説明します。 http://www.pref.niigata.lg.jp/dobokukanri/1235937712151.html</p> <p>◆児童生徒への社会資本整備の学習に役立つ資料「わたしたちのくらしと土木の働き」(一般財団法人 新潟県建設技術センター作成)を、ホームページに掲載しています。 http://www.niigata-cto.or.jp/hataraki/index.html</p>	<p>企画調整室 025-285-5511 内線3185 (直通)025-280-5383</p>

No.	機関等名	支援内容	連絡先
11	新潟県土木部 砂防課	事業名: 出前講座「土砂災害から身を守るためには」 ◆小中学生に、土砂災害等に関する防災事業に興味をもってもらえるよう出前講座や情報提供を行う。	企画調査係 025-285-5511 内線3366
		コンクール名: 土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール ★小中学生を対象として、土砂災害の体験や様子、土砂災害防止施設の様子等、土砂災害防止をテーマにした作品(絵画・作文)を募集し、優れた作品を表彰する。なお、最優秀作品は全国審査へ推薦する。 ★応募方法: 学校名、学年、氏名、作品題名を明記する。 ★絵画のサイズは自由。作文は400字詰め原稿用紙5枚程度 ★募集期間: 6月1日～9月15日 http://www.pref.niigata.lg.jp/sabo/	管理調整係 025-285-5511 内線3363 
12	公益財団法人 河川財団	事業名: 河川基金助成事業 ◆河川教育についての調査・研究及び教育計画の策定・実践を行う学校等に対して助成を行う。 ①「調査・研究助成」: 総合的な学習の時間、教科学習等における河川教育の調査・研究。 ②「教育活動計画助成」: 総合的な学習の時間等における河川教育計画の策定及びその実践。 ◆助成対象: 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等 ◆助成金額: ①「調査・研究助成」50万円 ②「教育活動計画助成」10～30万円 ◆募集期間: 10月1日～11月30日 http://kasenseibikikin.jp/	基金事業部 03-5847-8303
		事業名: 子どもの水辺サポートセンターによる河川教育の研究・支援 ◆情報提供、各種講演会の開催、ライフジャケット等の資機材の貸し出し、学習教材の作成・提供など、各省市・団体等と連携し、水辺での体験活動・環境学習がより広がるよう研究・支援を行っています。 【参考資料: 「水辺の安全ハンドブック」・「水難事故マップ」・「水教育ガイドライン」等】 http://www.kasen.or.jp/mizube	子どもの水辺サポートセンター 03-5847-8307
13	新潟県土木部 都市局 下水道課	事業名: 下水道の役割やしきみについての出前講座 ◆下水道施設の役割やしきみ、下水道のあらましなどについて、職員が出前講座を行う。 http://www.pref.niigata.lg.jp/kouhou/1194884160225.html	公共下水道係 025-285-5511 内線3347
14	公益財団法人 新潟県下水道公社	事業名: 下水処理場(浄化センター)の見学 ◆下水処理場(浄化センター)は、工場や家庭の汚れた水をきれいにする環境に優しい施設です。県が管理する7つの浄化センターの見学を通して、下水道の仕組みと働きを説明します。	業務課 025-271-1151 新津支所 0250-24-8132 西川支所 025-263-7901 長岡支所 0258-28-2001 六日町支所 025-776-3617 堀之内支所 025-794-5660 新井郷川支所 025-258-1580
		事業名: 下水道のしくみと使い方についての出前講座 ◆下水道施設のしくみをパワーポイントを用いて説明する。(浄化センターの概要、水処理のしくみ) ◆顕微鏡による微生物観察を行う。 ◆ティッシュペーパーとトイレペーパーの溶け方の違いを上演する。 http://www.niigata-gesuihou.or.jp/	業務課 025-271-1151
15	一般財団法人 伝統工芸品 産業振興協会	事業名: 児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業 ◆伝統的工芸品の製造に従事する伝統工芸士等の職人を小・中・高等学校に派遣し、伝統的工芸品の特性、技術・技法、原材料に関する講習や工芸品の製作体験を行うことにより、児童・生徒の伝統的工芸品に関する興味や関心を高める。 http://kougeihin.jp	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 03-5785-1001

No.	機関等名	支援内容	連絡先
16	県立テクノスクール	事業名:テクノスクール ①「にいがた・技のにぎわいフェスタ」イベント ②オープンキャンパス ◆会場:新潟・上越・三条・魚沼の各テクノスクール ◆内容 ①技能尊重気運の醸成を目的に技のにぎわいフェスタのイベントとして位置付け、小中学生を対象として、ものづくり体験イベントを実施する。 ②中高校生等の施設見学や学校説明会(オープンキャンパス)を実施する。	新潟県産業労働観光部 職業能力開発課指導係 025-280-5262 新潟 025-247-7361 上越 025-545-2190 三条 0256-38-8520 魚沼 025-794-2410
http://www.techno.ac.jp/			
17	にいがた・技のにぎわいフェスタ実行委員会	事業名:にいがた・技のにぎわいフェスタ ◆技能の重要性や必要性、その魅力を次代を担う若者、特に小中学生を中心に周知する。 ◆会場:上越、長岡、新潟の3市で順番に開催(H27:上越市、H28:長岡市、H29:新潟市予定) ◆内容:県内の各種技能士団体等による技能体験教室・技能展(展示・実演・販売)を行う。	新潟県産業労働観光部 職業能力開発課 技能振興係 025-280-5263 新潟県 職業能力開発協会 025-283-2155
18	県立歴史博物館	事業名:学校教育との交流普及事業 ◆【展示の説明】「新潟県のあゆみ」「雪とくらし」「米づくり」「縄文人の世界・縄文文化を探る」の各展示室の案内や解説を行う。音声解説器(無料)やワークブック(有料)を利用したの自習もできる。 ◆【体験の指導】「まが玉作り」「火起こし」「アンギン編み」「昔の遊び」など、体験活動の指導を行う。(用具は無料)。また、体験キットの貸出しや出前授業、出前体験も行う。	県立歴史博物館 経営企画課 0256-47-6135
http://nbz.or.jp/			
19	県立自然科学館	事業名:学校教育との連携事業 ◆【団体対応】学習に関連した展示解説やプラネタリウムの学習投影、各種実験・実演を行う。 ◆【出前授業】科学教室、各種実験、工作教室などアウトリーチ活動を実施する。 ◆【職場体験】科学館における各種業務の実務体験活動を指導する。 ※上記連携事業の実施につきましては、事前にお問い合わせください。	県立自然科学館 025-283-3331
http://www.sciencemuseum.jp/niigata			
20	新潟県 県民生活・環境部 文化振興課	事業名:新潟県文化祭事業「出前体験教室」 ◆未来を担う若い世代に文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、興味・関心をもってもらうため、県内文化団体や市町村と連携し、小中学生を対象とした出前体験教室を行う。 ◆募集期間:4月(予定) ◆実施方法:市町村を通じ、県内各小中学校に実施要望を照会する。	文化事業係 025-280-5139 内線2243
21	新潟県 埋蔵文化財センター	事業名:校外学習支援「まいぶんちゃん」と古代体験」 ▼「埋蔵文化財センター」 遺跡の調査結果や出土品を使って、「昔の人々のくらし」を体験し、郷土の歴史を理解できるよう、学校の希望に合わせた体験内容を用意して校外学習を支援する。 ◆【展示資料の紹介】 新潟県教育委員会が発掘した旧石器時代から江戸時代までの出土品を展示しており、児童生徒は、出土品を通して、「昔の人々のくらし」の変化や昔の人たちの工夫が理解できる解説を行っている。 ① 体験活動 小中学校向けに「火起こし」「石器使用」「勾玉作り」などの体験を用意している。 ② 出前授業・職業講話 希望する学校には、職員が出向いて出土品の解説や各種体験を行う。また、埋蔵文化財や発掘調査にかかわる業務についての職業講話を行う。 ③ 職場体験の受け入れ 中学生の職場体験を受け入れ、遺跡の発掘調査にかかわる業務について理解を深めてもらう。	(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団普及担当 0250-25-3981 
http://www.maibun.net			

No.	機関等名	支援内容	連絡先
22	新潟県立植物園	<p>事業名:教育プログラムを用いた総合学習支援事業</p> <p>① 総合学習支援 植物の不思議さ、楽しさを感じることでできるプログラムの提供</p> <p>② 出前授業 植物を中心にした自然環境に関する講義</p> <p>③ 校外学習・職場体験活動の受入れ 校外学習で訪れる生徒の質疑等への対応、植物園の業務の体験指導等</p> <p style="text-align: center;">http://botanical.greenery-niigata.or.jp/</p>	<p>植物課 0250-24-6465</p> 
23	新潟市新津美術館	<p>① 作品鑑賞機会の提供 学校からの事前の申し出で、展示作品の解説を行う。</p> <p>② 職場体験 学校からの事前の申し出で、生徒数名を受け入れ、美術館の仕事を経験してもらう。</p> <p>③ 出前美術館(新潟市内) 申込みのあった学校(小学校・中学校・高校)へ作家と共に出向き、作家の話の聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で、美術の楽しさを伝える。</p> <p>④ オープンギャラリー(新潟市内) 学校教員が美術館職員と共に、美術館で開催している企画展の出品作品を通して、作品鑑賞の授業を行う事業。美術館でバスを用意し、児童の送迎を行う。</p>	<p>新津美術館 0250-25-1300</p>
24	石油の世界館友の会	<p>事業名:石油の世界館、石油の里の解説</p> <p>◆石油の世界館および館外施設(石油文化遺産として保存されている石油探掘施設)の案内と解説を行う。</p> <p>◆石油を含む金津層、白玉の滝周辺の火山岩についての案内と解説や「地層の学習」の学習支援活動を行う。</p>	<p>石油の世界館 0250-22-1400</p> <p>石油の世界館友の会事務局 中島哲宏 090-4054-7607 nkjm03@yahoo.co.jp</p>
25	新潟県産業労働観光部観光局観光振興課	<p>事業名:スキー次世代マーケット拡大事業</p> <p>◆スキー観光の活性化を図るための柱の一つに次世代マーケットの拡大を位置づけ、以下の施策を実施する。</p> <p>① 「にいがたの雪国体験」のPR 県内の雪国体験や冬のレジャーの魅力をPRしていくため、様々なスポーツ、アトラクション、アクティビティを収集し、主に県外修学旅行向けとしてPR・誘客を図る。</p> <p>② 情報の発信 学校教育における雪国体験学習やスキー授業の実施を促進するための情報提供を行う。</p> <p>③ 新規スキー授業実施への補助 新規にスキー授業等を実施する小学校に対し、リフト代や用具レンタル代等の経費を補助する。</p>	<p>①②は 宣伝企画グループ 025-285-5511 内線2805</p> <p>③は、 新潟県保健体育課学校体育指導係 025-285-5511 内線3939</p> 

No.	機関等名	支援内容	連絡先
26	新潟県 県民生活・環境部 環境企画課	事業名:環境学習会 ◆地球環境問題から身近な環境問題までを講義や実験、ビデオ等でわかりやすく解説し、日常生活と環境との関わりや自然の大切さ等を学ぶ。 ◆事業主体:環境企画課、環境センター、保健環境科学研究所	新潟県県民生活・環境部 環境企画課 企画調整係 025-280-5149 内線2699
		事業名:子どもエコクラブ ◆地域の中で仲間と共に、環境に関する学習や活動をする自主的な環境活動グループ。登録クラブへは情報提供などの様々な支援が用意されている。 ◆事業主体:公益財団法人日本環境協会 http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1190071068395.html	
		事業名:子どもエコチャレンジ ◆子どもたちに地球環境問題について考えてもらい、環境にやさしい行動へ取り組むきっかけを与える活動を行う。 http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1215712882187.html	
		コンクール名:ごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスター・標語コンテスト ★ごみの散乱防止と3Rの推進を図るため、その啓発活動の一環として、小学生、中学生及び高校生を対象にポスター・標語の作品を募集し、優れた作品を表彰する。 ★応募方法:応募作品及び応募票 ★募集期間:6月下旬～9月下旬(予定) http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1215111699069.html	
27	新潟県 県民生活・環境部 環境企画課	事業名:家庭でできる温暖化対策 ◆地球温暖化対策につながる「家庭でできる節電対策」「家庭における省エネ対策のすすめ」「できることからLet's省エネ!」「ノー白熱電球」について、リーフレットを作成し、ホームページも活用して情報提供を行っている。 「家庭でできる節電対策」 http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1308088846914.html 「できることからLet's省エネ!」 http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1356787388404.html 「ノー白熱電球」 http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1356757753632.html	地球環境対策室 025-280-5150 内線2702
28	新潟県 県民生活・環境部 環境企画課 新潟県教育委員会	コンクール名:自然保護ポスター原画コンクール ★環境月間行事の一環として、自然保護に関するポスターの原画を募集し、優れた作品を表彰する。 ★応募方法:応募作品及び応募票 ★募集期間:4月～7月上旬まで(予定)	新潟県県民生活・環境部 環境企画課 自然保護係 025-280-5151 内線2703
29	新潟県環境会議 	コンクール名:新潟県環境賞 ★地域の優れた環境保全活動を「学校等の部」「一般の部」「企業の部」の各部門ごとに募集し、表彰する。 ★応募方法:申込書の他、写真等資料 ★募集期間:6月下旬～9月下旬(予定) http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1352844036989.html	新潟県県民生活・環境部 環境企画課 企画調整係 025-280-5149 内線2699
		コンクール名:新潟県エコライフコンテスト ★家庭における優れた省エネ・省資源の取組を表彰する。 ★応募方法:申込書の他、写真等資料 ★募集期間:6月下旬～9月下旬(予定) http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyokikaku/1352757676241.html	

No.	機関等名	支援内容	連絡先
30	愛鳥センター 紫雲寺さえずりの里	コンクール名:愛鳥週間ポスター原画コンクール ★愛鳥週間用ポスターの原画を募集し、すぐれたものを表彰する。 ★応募方法:応募作品及び応募票 ★募集期間:9月上旬まで	愛鳥センター 紫雲寺さえずりの里 0254-41-4500
		コンクール名:野生生物保護実績発表大会 ★愛鳥モデル校で行っている鳥獣保護活動実績について発表大会を開催し、すぐれた発表について表彰する。 ★応募方法:野生生物保護実績報告書 ★募集期間:6月中旬まで	
		事業名:愛鳥センター紫雲寺さえずりの里運営事業 ◆展示施設の内容 ① プナ林のジオラマがあり、野鳥の鳴き声を聞いたり姿を間近で確認したりできる。 ② はく製・巣・卵等の標本を展示しているほか、触ることのできる標本もあり、翼や羽の構造を学習できる。 ◆保護施設 ① 保護飼育中の水鳥や猛禽類等の野鳥を間近に見ることができる。 ◆その他の施設 ① 施設2階のレクチャールームは講演会や研修会等に使用できる。(80人収容) ② 観察舎と池が整備されており、サギ類などの水鳥やカワセミが見られる。また、センター裏に探鳥路があり、松林の中を散策することができる。 ◆各種企画事業・探鳥会などで野鳥保護に関する啓発普及活動を実施している。 ※詳しい内容については、HPでご確認ください。	
http://www.pref.niigata.lg.jp/aicho/			
31	新潟県 地球温暖化防止活動 推進センター	事業名:地球温暖化防止に関する講師派遣事業 ◆地球温暖化のメカニズム、地球規模、新潟県での現状や対策の重要性、国際的な取組の動向、どんな対策があるかなどの正しい知識を広めるため、学校や自治会等の集会へ、県が委嘱する地球温暖化防止活動推進員などの講師派遣、幹旋等を実施する。 ◆環境省が、最新の地球温暖化の知見(IPCC第五次報告書)を全国で周知するために策定した動画、資料を使用して、専門にトレーニングを受けた講師により、その内容をわかりやすく提供するため、講師派遣を実施する。 ◆講師を学校に派遣する他、地球温暖化、温暖化対策に関する本事業団実内での環境学習を受け入れる。30人程度の受け入れが可能。	新潟県地球温暖化防止活動 推進センター (公財)新潟県環境保全事業 団 025-264-2144
http://www.eco-niigata.or.jp/ondanka/index.html			
32	新潟県 県民生活・環境部 県民生活課	事業名:交通安全教育資料の貸出し ◆学校で、児童生徒の交通安全教育を行うための視聴覚教材の貸出しを行う。	交通安全対策室 025-280-5136 内線2486、2487
		http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminseikatsu/1192033857289.html	
		事業名:防犯出前講座 ◆防犯アドバイザーを派遣し、地域安全マップの作成、児童生徒の防犯能力を高める講座を開催する。 ◆対象:防犯出前講座の開催を希望する学校 ◆講師:県が委嘱した防犯アドバイザー	安全・安心なまちづくり班 025-280-5249 内線2495、2496
		http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminseikatsu/1203872471587.html	
		事業名:地域安全マップづくりコンテスト ◆児童の危険予測や回避能力、地域の防犯力を高めるため、小学生を対象にした「地域安全マップづくりコンテスト」を開催する。 ◆対象:小学生 ◆募集期間:7月～10月(予定)	安全・安心なまちづくり班 025-280-5249 内線2495、2496
http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminseikatsu/1203872471587.html			
	事業名:命の大切さを学ぶ教室 ◆犯罪被害者遺族等が講演を行い、犯罪被害者等が受けた心の痛みや命の大切さなどへの理解を深めることにより、犯罪被害者等を思いやる意識を養うとともに、罪を犯してはならないという規範意識を向上させる教室を開催する。 ◆対象:中学校以上の学校、地域団体等 ◆講師:犯罪や交通事故により家族を亡くされた被害者遺族、県警犯罪被害者支援室員等	安全・安心なまちづくり班 025-280-5249 内線2495、2496 新潟県警察本部 警務課 犯罪被害者支援室 025-285-0110 内線2655	
http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminseikatsu/1356755961338.html			

No.	機関等名	支援内容	連絡先
33	警察庁 	事業コンクール名:命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール ◆受講した「命の大切さを学ぶ教室」の単なる感想ではなく、受講を通じて得た命の大切さに関する自分の考えや意見について、身近に経験したり見聞きした事件・事故に関すること、いじめに関すること、家族や人と人との関係の大切さに関すること、被害者支援活動・防犯活動に関することなどを盛り込みつつ表現した作文を募集。最優秀作品を全国審査に推薦し、国務大臣・国家公安委員会委員長賞、文部科学大臣賞などの表彰を行う。 ◆応募資格:「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中学・高校生 ◆応募規定:中学生の部は、400字詰め原稿用紙3枚以内 高校生の部は、400字詰め原稿用紙4枚以内 ◆応募方法:学校で取りまとめて警察本部警務課に送付する。 ◆募集期間:6月～9月末(予定)	新潟県警察本部 警務課 犯罪被害者支援室 〒950-8553 新潟市中央区新光町4-1 TEL.025-285-0110 内線2655
34	環境にやさしい買い物運動 実行委員会	事業名:「環境にやさしい生活」出前講座 ◆小中学校等が総合的な学習の時間等で環境問題を取り上げる際に講師を派遣し、マイバッグ持参や3R(リデュース、リユース、リサイクル)などをテーマに、環境にやさしい取組について、分かりやすい方法で説明する。 http://www.pref.niigata.lg.jp/shohishagvosei/1270508489598.html	新潟県県民生活・環境部 消費者行政課企画係 025-285-5511 内線2480
35	新潟県 産業労働観光部 産業振興課	事業名:「新潟県のエネルギー」ホームページの作成 ◆石油・天然ガスの歴史、産地や統計情報、再生可能エネルギー(太陽光、地熱、小水力、雪冷熱、海洋エネルギーなど)に関する情報をホームページに掲載している。 http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1194797770547.html	新エネルギー資源開発室 025-280-5257(直通) 025-285-5511(内線2833)
		事業名:「新潟雪国メガソーラー発電所」エネルギー教室 ◆昭和シェル石油株式会社が、新潟雪国型メガソーラー発電所を活用し、小学生を対象としたエネルギー教室を開催している。 ◆事業主体:昭和シェル石油株式会社 ◆対象:小学校4・5・6年生 ◆移動手段:学校負担 ◆費用負担:工作キット代(工作キットを使用するかは各学校の任意) ◆その他:この他に一般見学も受け入れている。	新エネルギー資源開発室 025-280-5257(直通) 025-285-5511(内線2833) 昭和シェル石油株式会社 環境安全(HSSE)部 新潟防災訓練所 兼 防災・エネルギー研修センター 025-275-5291 ※「新潟メガソーラー見学の件」とお問い合わせください。
		事業名:新潟県次世代エネルギーパーク ◆太陽光発電等の再生可能エネルギー施設や、自然科学系の博物館などの体験施設を、「新潟県次世代エネルギーパーク」として位置づけ、これら施設を見学・体験できるモデルルートを設定している。 http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1314223226519.html	新エネルギー資源開発室 025-280-5257(直通) 025-285-5511(内線2833)
36	新潟県 総務管理部税務課	◆新潟県 キッズサイト こども情報館において、税の仕組みやその使われ方を子ども向けに平易な言葉で紹介している。 「だいきとみきの探検隊」 http://www.pref.niigata.lg.jp/zeimu/daikitomiki.html	管理調整係 025-285-5511 内線2202

No.	機関等名	支援内容	連絡先
37	税務署	事業名: 租税教室の開催 ◆児童・生徒に税の仕組みや税の役割、使い道などを理解してもらうため「租税教室」を開催している。 ①先生が開催される場合 租税教育用ビデオ、DVDの無料貸し出しを行う。 ②税務署等から講師派遣を希望する場合 時間の長短・人数の多少に拘わらず、学年、授業の進行度合いに応じた内容で開催する。	新潟税務署 税務広報広聴官 025-229-2108
		事業名: 税務署見学 ◆職場体験学習の一環として税務署見学を受け入れる。	
		事業名: 税に関する情報提供 ◆国税庁ホームページの「税の学習コーナー」では、パワーポイントで作成した児童・生徒用の教材(講師用マニュアルを含む)や、税に関する様々な情報を提供する。	
		コンクール名: 中学生の「税についての作文」 ◆国税庁では、全国納税貯蓄組合連合会との共催により、全国の中学生から「税についての作文」を募集し、優秀な作品には内閣総理大臣賞をはじめ総務大臣賞、文部科学大臣奨励賞などの表彰を行う。 ◆応募方法: 中学校を通じて各税務署(管理運営部門)あてに出品する。 ◆募集期間: 6月～9月上旬(予定) http://www.nta.go.jp/	新潟税務署 管理運営部門 025-229-2112
38	新潟県 金融広報委員会	事業名: 金融教育出前講座 ◆当委員会の金融広報アドバイザーが出向き、物やお金を大切にすることの育成のための講義、金融や経済の仕組みを理解するための講義、自立した消費者になるための知識を養う講義を行うほか、関係資料の無償提供やビデオの貸出を行う。 http://www3.boj.or.jp/niigata/kinkoui/kinkoui.html	新潟県金融広報委員会 事務局 (日本銀行新潟支店内) 025-223-8414
		事業名: 金融教育研究校委嘱事業 ◆児童生徒の発達段階に応じた金融教育を研究・実践するための研究校を募集する。 ◆募集期間: 毎年9月～11月 ◆委嘱期間: 募集した翌年の4月から2年間 ◆助成・援助: 研究費等の助成のほか、関係資料の提供、講師の派遣も行う。	新潟県金融広報委員会 事務局 (日本銀行新潟支店内) 025-223-8414
39	金融広報中央委員会	コンクール名: 「おかねの作文」コンクール ★ねらい: お金の役割や金融経済への理解向上を促す。 ★応募資格: 中学生 ★応募内容: お金について普段考えていることを1,600字～2,000字にまとめる。 ★応募方法: 募集チラシ(ホームページに掲載)を参照して送付先に送付する。 https://www.shiruporuto.jp/	新潟県金融広報委員会 事務局 (日本銀行新潟支店内) 025-223-8414
40	日本銀行新潟支店	事業名: 日本銀行新潟支店見学 ◆日本銀行の役割や業務内容、お金に関する説明のほか、模擬券を使った一億円の重さ体験やお札の偽造防止技術の紹介等を行う。 http://www3.boj.or.jp/niigata/	日本銀行新潟支店 総務課 025-223-8414
		事業名: 日本銀行紹介ビデオ貸出 ◆日本銀行について分かりやすく解説したビデオの貸出を行う。 ・タイトル: 「お札と探検! 日本銀行」<21分> (教育広報用<中学生程度>) ※借用希望の場合、借用願をFaxで申し込む。 http://www.boj.or.jp/about/services/kengaku.htm/	日本銀行 情報サービス局 03-3277-2815(直通)
		事業名: 日本銀行新潟支店職員による出前講座 ◆日本銀行の役割や業務内容、お金に関する説明のほか、模擬券を使った1億円の重さ体験やお札の偽造防止技術等の紹介を行う。 ◆キャリア教育のゲストティーチャー ※人的制約があるので、事前に相談する。	日本銀行新潟支店 総務課 025-223-8414

No.	機関等名	支援内容	連絡先
41	新潟県立 環境と人間の ふれあい館	<p>事業名:環境と人間のふれあい館運営事業</p> <p>◆展示施設の内容</p> <p>①水辺のいきものと阿賀野川のくらし 川の中をイメージした空間で、水辺にすむ生きものと阿賀野川の風景や歴史を紹介。</p> <p>②水と私たちの生活 生活や環境の視点から水の大切さ、経済活動と環境のかかわりを紹介。 水のクイズや水力水質浄化装置などを通して、自ら体験しながら学習できる。</p> <p>③新潟水俣病 新潟水俣病の被害や歴史、今日の環境問題などを映像、パネル展示・資料で紹介。</p> <p>◆その他の施設</p> <p>①研修室(80人収容):研修や写真・パネル展示が可能</p> <p>②図書室:資料、図書、ビデオ、インターネットが利用可能</p> <p>③多目的室(10人収容):小会議や講師控え室として利用できる。</p> <p>◆新潟水俣病語り部 要望により実施する「語り部講演」では直接被害者の体験を聞くことができる。</p> <p>http://www.fureaikan.net</p> <p>事業名:小・中学校への地域の環境学習等支援事業</p> <p>◆新潟水俣病をテーマとした環境教育や人権教育の実施方法等、より効果的な授業の在り方について実践研究を行う小中学校を支援する。</p> <p>◆実施研究モデル校:小学校及び中学校15校(予定)</p> <p>◆新潟水俣病学習のための資料・教材、授業記録をホームページに掲載しました。</p> <p>http://www.pref.niigata.lg.jp/seikatueisei/1356815355969.html</p> <p>◆事業の実施方法 県がモデル校を希望する学校に対して事業実施を委託し、成果発表会を行う。</p> <p>http://www.pref.niigata.lg.jp/seikatueisei/1356829289668.html</p>	県立環境と人間の ふれあい館 025-387-1450
42	国土交通省 北陸地方整備局	<p>◆国土交通省北陸地方整備局では、道路や川、公園、港湾、空港、海岸などの社会資本を、地域の特性を生かした「相談学習」のテーマとして提供・支援するための「総合学習相談窓口」を開設している。</p> <p>◆窓口では各社会資本を活用した「総合的な学習の時間」のカリキュラムの相談、施設の利用、講師派遣など、さまざまな相談、依頼に応じている。</p> <p>◆「総合的な学習の時間」に関して、北陸地域の各学校との連携を深めるための窓口として機能することを目標としている。</p> <p>国土交通省北陸地方整備局 http://www.hrr.mlit.go.jp</p> <p>学びの総合情報「ふれあいプログラム」 http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html</p>	企画部企画課 企画第二係 025-280-8880(代) 管内各事務所の 総合学習相談窓口
43	日本赤十字社 新潟県支部	<p>事業名:生きる力をはぐくむ赤十字のプログラム</p> <p>◆自主的で自立した考え方を育むことを目標として、出前授業や資料・情報の提供をおこなう。</p> <p>①福祉・健康 ・高齢者疑似体験 ・AED講習 ・簡単にできる応急手当</p> <p>②国際理解 ・水汲み用の水がめや地雷模型体験を通し、平和の大切さや世界の子ども達の現況を学ぶ ・赤十字の国際救援活動講話を通し、災害や紛争被害のあった国の生活や現状を学ぶ</p> <p>③防災教育 ・東日本大震災活動体験講話 ・毛布担架体験 ・ハザードマップを使った安全確認 ・家庭で備える非常時持出品の確認</p> <p>http://www.niigata.iro.or.jp/</p>	組織振興課 025-231-3121 
44	新潟県 産業労働観光部 職業能力開発課	<p>事業名:新潟県卓越技能者「にいがたの名工」</p> <p>◆児童生徒に対し、ものづくりの魅力を啓発するとともに、職業に対する理解を深めてもらうために、卓越した技能を有する技能者「にいがたの名工」が下記の活動等を行う。</p> <p>◆活動内容</p> <p>①ものづくりに関する「講演」の実施</p> <p>②「ものづくり体験教室」の実施</p> <p>http://www.pref.niigata.lg.jp/shokugvvo/1193933757818.html</p>	新潟県 産業労働観光部 職業能力開発課 技能振興係 025-280-5263 内線2825

No.	機関等名	支援内容	連絡先
45	(社)新潟県発明協会	コンクール名:新潟県発明工夫展・模型展 ◆小中高校生を対象として、青少年の創意工夫により生まれた作品を募集し、優れた作品を表彰する。なお、優秀作品については全日本学生児童発明くふう展へ推薦する。 http://www.niigata-i-cube.com/	(社)新潟県発明協会 025-242-1175
46	新潟県福祉保健部 児童家庭課	コンクール名:明るい家庭づくり運動に関する作文募集 ◆家族や家庭について考えるとともに、青少年の健全育成を図るため、明るい家庭づくり運動に関する作文を募集し、優れた作品を表彰する。 ◆応募方法:学校または個人による応募。いずれも郵送による。 ◆募集期間:11月中旬～1月中旬 http://www.pref.niigata.lg.jp/jidokatei/1356801204745.html	青少年育成係 025-285-5511 内線2512
47	国土交通省 北陸信越運輸局	事業名:交通エコロジー教室 ◆「交通と環境の問題」を広く国民の方々に考えて頂く機会を提供することにより、「環境負荷の小さい交通体系」について理解を深めてもらうことを目的とした普及活動で、小学校を中心とした出前授業等を実施している。 ◆出前授業にかかる費用は不要ですので、まずはご相談を！ http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/environment/eco_school.html	国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 環境・物流課 025-285-9152
48	県立浅草山麓 エコ・ミュージアム	事業名:環境学習体験拠点:県立浅草山麓エコミュージアム ◆緑豊かな環境学習拠点として、魚沼市浅草山麓の森林内に、展示施設や自然観察道があるほか、国有林の施設(自然観察路)である「遊々の森」と隣接。 ◆施設内での体験学習のほか、魚沼地域にて行われる自然観察やグループワーク、カヌー体験や登山、雪上トレッキングなど、自然の中で体験する環境学習プログラムを年間を通じて多数用意している。 http://www.eco-museum.jp	エコ・ミュージアム事務局 Tel 025-798-4141 Fax 025-796-2767
49	新潟県 職業能力開発協会	事業名:ものづくりマイスター等の派遣事業 ◆新潟県内の小学校・中学校の児童生徒や普通高校等の生徒に、技能(ものづくり)の魅力と重要性を啓発するとともに技能の向上や職業観を醸成することを目的として、「ものづくりマイスター」等の熟練技能者を派遣し、小学校・中学校・高校の児童生徒を対象に、職業講話・製作実演・ものづくり体験教室を行う。 http://www.nvada.com/main.html	新潟県職業能力開発協会 025-283-2155
		事業名:職人フェア ◆10月中に「新潟ふるさと村」で実施(予定) ◆優れた技能者として、(一社)全国技能士会連合会から認定された「全技連マイスター」による、製作実演・ものづくり体験・作品の展示等を行う。 新潟県職業能力開発協会 025-283-2155	
50	(独)高齢・障害・求職者 雇用支援機構 新潟支部 高齢・障害者業務課	事業名:新潟県障害者技能競技大会(アビリンピックにいがた) ◆障害のある方が日頃職場などで培った技能を競う大会。障害者の職業能力の向上を図り、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的としている。大会当日は、福祉施設の製品販売、体験教室、クイズラリーも実施している。 http://www.ieed.or.jp	(独)高齢・障害・求職者雇用 支援機構 新潟支部 高齢・障害者業務課 025-226-6011
51	川に学ぶ体験活動協議会 (通称RAC)	事業名:川に学ぶ体験活動 ◆全国の川や水辺をフィールドとして安全に楽しく遊び学ぶ活動をするための「川の指導者」育成を行う。 ◆学校における総合的な学習の時間等での川や水辺を活用した学習活動を支援する「学校連携コーディネーター」ならびに学校の教員向けの「学校リーダー」育成を行う。 http://www.rac.gr.jp	特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活動協議会 (通称:RAC) 03-5832-9841